



平成 19 年 9 月 26 日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ  
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘  
(コード番号 2369: 東証マザーズ)  
問合せ先 専務取締役管理本部長 川井 隆史  
(Tel: 03 - 5510 - 2407)

## バイオチップコンソーシアム(JMAC)設立への参画のお知らせ

このたび、当社の子会社である株式会社メディビックは、国内のバイオチップ関連企業と協力し、経済産業省・生物化学産業課の支援のもと、バイオ関連技術の早期産業化および市場創出・市場拡大を目的として設立される、我が国初のバイオ分野での業界団体“バイオチップコンソーシアム(JMAC)”の設立に、参画することとなりましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. JMAC 設立と参画の経緯

バイオチップコンソーシアム(JMAC)は、バイオチップ\*の標準化を足がかりとし、医療・医薬分野をはじめ、健康産業、食品、環境などの様々な業界における、バイオ技術の産業化に必要な基準作りを活動課題とする業界団体です。

メディビックは、本年3月9日に経済産業省本館において開催された第1回 JMAC 設立準備検討会以降、国内のバイオチップ関連企業が中心になって進めてきた設立準備に際し、発起人および事務局として全体をとりまとめまいりました。正式な設立は、10月19日開催予定の設立総会開催日の予定です。

設立後も、事務局として引き続き支援を行い、ビジネス、標準化、国際連携などのテーマごとに組織されるワーキンググループ(以下、WG)を中心とした活動について、中心的な役割を担って行く予定です。

また JMAC の支援を通じて、メディビックが推進する PGx 試験支援やバイオマーカー探索支援のソリューションについてのパートナーシップを強化し、バイオチップによる診断事業開発も視野に入れながら、PGx 試験支援事業の拡大を目指します。

本件が当社の平成 19 年 12 月期(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)における当期業績見通しに与える影響については現時点では未定ですが、状況が分かり次第、速やかに詳細をお知らせする予定です。

## 2. 参画する団体の名称

バイオチップコンソーシアム (Japan Microarray Consortium 略称: JMAC)

公式ホームページ (<http://www.jmaq.org>)

### \* バイオチップとは

バイオチップとは、数十～数万種類の生体物質や生体機能に関連する化学物質などを、ガラスなどの基盤に高密度に固定したものです。代表的なバイオチップには、DNA マイクロアレイがあり、このようなチップを用いて、病気や、個人個人に対する薬の効き方などの診断への応用が期待されています。

JMAC の活動は、このようなバイオチップはもちろん、広くバイオ分野の技術の産業化を目指すものとなる予定になっています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディビック

PGx 事業本部 上坂

Tel: 03 - 5510 - 2313

以上